

炯眼の精銳が集い、 社会の健康価値を 創造する。



鈴木 寛

1964年生まれ。東京大学法学部卒。1986年通産省入省。中央大学講師等を経て、慶應義塾大学環境情報学部助教授に就任。2001年参議院議員に初当選し、2期目。現在も、中央大学客員教授、筑波大学客員教授、阪大、東大でも教鞭をとる。

梅村 聰

1975年生まれ。大阪大学医学部医学科卒。2002年箕面市立病院勤務の際に医療現場の実状、患者の悩みに接し、少しずつ「政治への疑問」を強くする。2007年参議院議員に初当選し、1期目。参議院厚生労働委員会理事。

境田正樹

1963年生まれ。弁護士。内閣官房医療イノベーション推進室顧問。内閣府独立行政法人ガバナンス検討チーム委員。東北大学大学院医学系研究科・医学部客員教授。大阪大学臨床工医学融合研究教育センター招へい教授。

西尾章治郎

1975年京都大学工学部卒。1992年大阪大学工学部教授。大阪大学理事・副学長(研究・産学連携)、文部科学省科学官、内閣府総合科学技術会議専門委員・医学部客員教授。大阪大学臨床工医学融合研究教育センター招へい教授。

妙中義之

1951年生まれ。1976年大阪大学医学部卒。1999年より大阪大学整形外科教授。専門は、骨軟部腫瘍外科、骨再生医療など。2003年、産学連携により、世界初の連通多孔人工骨NEOBONEを開発した。2012年4月より、大阪大学医学部附属病院長。

吉川秀樹

1954年生まれ。大阪大学医学部卒。2006年より大阪大学心臓血管外科教授。日本外科学会等13の学会理事や内閣官房医療イノベーション推進室次長、大阪大学医学部教授併任。

澤芳樹

1955年生まれ。大阪大学医学部卒。2006年より大阪大学心臓血管外科教授。日本外科学会等13の学会理事や内閣官房医療イノベーション推進室次長、大阪大学医学部教授併任。

田倉智之

1992年に北海道大学工学研究科を、2006年に東京女子医科大学門准教授。府市特別参与。東京大学医学部卒業。シカゴ大学ビジネススクールMBA卒業。日、米、豪にて麻酔科医として勤務。マッキンゼー＆カンパニー、帝京大学医学部附属病院経営企画室を経て、2011年より現職。

大嶽浩司

自治医科大学地域医療政策部門准教授。府市特別参与。東京大学医学部卒業。シカゴ大学ビジネススクールMBA卒業。日、米、豪にて麻酔科医として勤務。マッキンゼー＆カンパニー、帝京大学医学部附属病院経営企画室を経て、2011年より現職。

不確実な現代社会の羅針盤たる未来の指導者が集う

21世紀に入り新たな時代への期待が高まる中、激動する世界の力学に揺さぶられる不確実な現代社会を反映して、表層的な豊かさとは裏腹に社会の幸福感は低下していると言われて久しい。これまで信じられてきた医療制度や健康価値は揺らぎ、これから「社会の健康価値」は未だ見つかっていない。不確実な現代社会においては、新たな「価値(Value)」こそが、社会の幸福感の拠り所になるものである。我々が依って立つ社会は、今、何を求めているのだろうか。その解を模索し、潜在需要に応えうる「目利き(Evaluation)」の能力を持った羅針盤こそが、今後、求められているヒトやシステムの理想像に違いない。

本塾は、大阪大学の英知を結集し、現代社会の難題に挑む新しい領域横断型教育プログラムである。各専門領域における最先端の研究者とともに議論を交わすことで、不確実な時代を見通す「目利き」たる能力を養うことを目的とする。激論を交わしたものたちが築く「目利きのネットワーク」こそが、新しいビジネス・新しい学問・新しい社会、そして未来の「価値」を生み出すであろう。

本塾での経験を活かすことで、社会の健康価値を創造し、国民の幸福感(Well-Being)を増大させる新たな価値を創造することが可能になる。すべての受講者がそれぞれの分野で「指導者の中の指導者」として活躍することを目指してもらいたい。

羅針盤塾長宮原秀夫

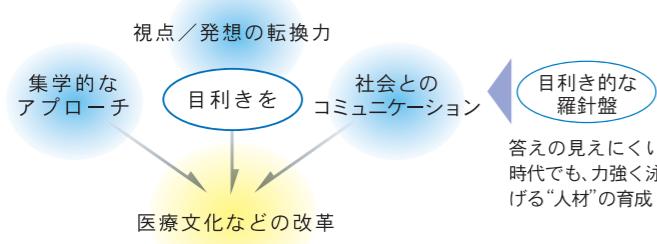


宮原秀夫

1943年生まれ。大阪大学工学研究科修了。コンピュータネットワークのモデル化と性能評価を学問領域として確立。大阪大学総長を経て情報通信研究機構理事長、臨床医工情報学コンソーシアム関西会長。2013年春才一OPENされるナレッジキャピタルのエグゼクティブアドバイザー。

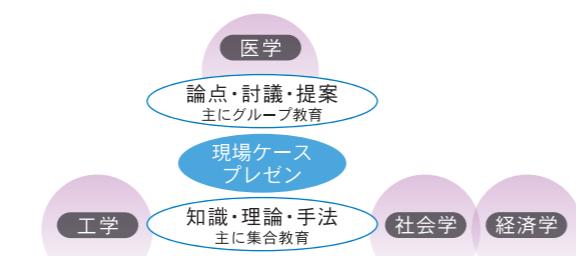
現代社会の「目利き」の育成

社会全体の幸福度を上げる「新しい価値」を創造するために真価を見通し未来を見通す「目利き」を育成する。



議論と現場、実体験型の講議スタイル

現場を踏ました議論を展開し、議論を臨床現場で実証。専門領域を越えた自由で幅広い研究で社会の難題にアプローチ。



プログラム

■モデレーター: 田倉智之(大阪大学大学院医学系研究科・教授)、妙中義之(国立循環器病研究センター・研究開発基盤センター長)

9:00 - 9:10	スタートアップ	宮原秀夫(臨床医工情報学コンソーシアム関西・会長)
9:10 - 9:40	問題提起1 先端医療: 医療分野の価値の根源はイノベーション ——〈診療の底力と夢を例示〉	澤芳樹(大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長)
9:40 - 10:00	問題提起1の質疑応答およびディスカッション	
10:00 - 11:40	問題提起2 人材育成: 人材は資産であり国々の発展に不可欠 ——〈目利きや産業振興の視点〉	鈴木寛(参議院議員)
11:40 - 12:00	問題提起2の質疑応答およびディスカッション	
12:00 - 12:10	休憩	
12:10 - 12:40	問題提起3 医療制度: 医療保険財源と国民の支え合い ——〈受益と負担の考え方〉	梅村聰(参議院議員)
12:40 - 13:00	問題提起3の質疑応答およびディスカッション	
ランチョンミーティング		
13:00 - 15:00	1. 自己紹介(グループ内で) 2. 4~5人のグループで午前中の問題提議を受けてディスカッションし受講者側からの問題提議を考える	
15:00 - 15:30	基調講演 医療イノベーションの政策動向	境田正樹(四谷番町法律事務所・弁護士)
15:30 - 17:00	総合討議 ランチョンミーティングでの問題提議をもって、講師陣・受講生も含めたディスカッション	梅村聰 境田正樹 宮原秀夫 西尾章治郎 吉川秀樹 澤芳樹 妙中義之 田倉智之 大嶽浩司
17:00 - 17:05	修了証書授与	
17:05 - 17:15	クロージング	吉川秀樹(大阪大学医学部附属病院・病院長)
17:15 - 17:20	記念撮影	
17:30 - 19:30	交流会	

※タイトルは変更になる可能性があります。